

十和田市立中学校部活動地域連携推進計画(案)に対するパブリックコメントについて

意見の募集期間 令和7年2月21日～3月7日

意見の提出者数 3名（指導課へのメールによる提出）

番号	意見等	市教育委員会の意見
1	<p>地域クラブ活動への地域連携について</p> <p>全国での学校部活動から地域移行の動きは拝見しておりますが、十和田市は地域連携という意味合いでは具体的にどのような連携を予定しておりますか。地域企業の協賛参加や活動場所の確保など、見えないことばかりに思えます。他市町村では地域を挙げ、スポンサー企業を募る、指導者の確保などを積極的に動いて形になっています。現時点では、この先、市内の子供たちが好きな事を思いきり継続できる環境には程遠く、それぞれのご家庭の負担ばかりが懸念されます。金銭的余裕のない家庭では諦めなくてはならない事につながっていきます。十和田市は大学もあり、学生の協力も得られる環境にあるかと思えます。市内のスポーツ行事にもたくさんの企業が協賛されてるかと思えます。情報発信を強化し、市のスポーツ・文化活動の未来を守るためにも、下記内容を具体的に検討していただくことを願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域連携の具体化</li> <li>・ 市内企業等への周知、協力団体の募集等</li> <li>・ 地域クラブ設立への支援やサポート体制の強化、予算の確保</li> <li>・ 指導者の確保やそれに向けた研修等の実施</li> </ul>	<p>市教育委員会では、部活動の地域連携に向け、P6の2(2)に記載のとおり、国のガイドライン等で示されている「地域移行」と「地域連携」を組み合わせた内容で、地域連携を推進していきます。地域企業や大学との連携等も含めて、いただいたご意見を参考に、今後検討してまいります。</p>

<p>2</p>	<p>十和田市立中学校部活動地域連携推進計画（案）を作成していただきありがとうございます。当初は令和5年度末に示されるとのことでしたが、そういったこと（R5に発信をできなかったこと、発信が遅れたこと）についての情報がこれまでになかったことが現状としてあります。その点について方針ではなくとも何らかの形で触れてほしかったという思いです。</p> <p>三本木中サッカー部（TOWADA SANBONGI SC）は令和5年度8月にクラブ化や拠点校方式での活動について指導者で研修を行い、令和6年1月にサッカー部保護者を対象に検討会を行いました。その際、十和田市の方針や方向性を示せるものがあれば、よりスムーズに移行できたと思います。この計画が地域の子どもたちのために、これから地域移行（連携）に向かう方々の助けになることを願っています。</p>	<p>部活動の地域連携は多くの課題が伴うため、慎重に検討を重ねながら進めてまいりました。今後は、より円滑な情報共有を心がけ、地域連携を進める皆様の参考となるよう努めてまいります。</p>
<p>3</p>	<p>現状と課題「(1)生徒数の減少」「(2)教員の長時間労働」「(3)アンケート調査の結果」から(4)地域移行に向けて「生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するために～」と目的を掲げています。</p> <p>生徒（子どもたち）のために必要な地域移行であるということを強く発信することをお願いしたいです。</p> <p>特に、学校教育の充実につなげるために部活動を学校から切り離すことについては教員に対して意識付けをしていく必要があると思います。「負担軽減＝学校教育の充実」を実現するために、部活動の時間が空くことで教師にとって授業改善の研修の機会や生徒（子どもたち）と向き合う時間を確保することにつながられます。新たに創造された時間が子どもたちのために還元されることを願っています。</p>	<p>部活動の地域連携は、子どもの豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現を目的としており、今後も、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続的に親しむことができる環境づくりに向け、地域と連携しながら取り組んでまいります。</p>

<p>4</p>	<p>同(4)「生徒や保護者の負担に十分配慮しつつ～」について、以降の内容でP13に課題と対応例をあげていますが、家庭の経済的な負担軽減と送迎等の支援についてTOWADA SANBONGI SCで考えたときに課題となったことは、各学校から練習場所（若葉・こまかいど一む・三本木中グラウンド）に移動する手段がほぼなかったことです。下記の3校のみでした（十和田中の場合は帰りの会終了前ですが…）。</p> <p>【十和田中】南部バス 十和田中入口15：59 → 十和田市中央16：04</p> <p>【附属中】十和田観光バス 三高正門前16：32 → 十和田市中央16：37</p> <p>【東中】十和田観光バス 北里大学前16：15 → 十和田市中央16：24</p> <p>夏季は自転車等を利用できますが、冬季になると不可能です。</p> <p>例えば、循環バスやシャトルバスのように活動時間にあわせて運行したり市内各校のスクールバスを活用したりすることは可能でしょうか。</p> <p>また、家庭の経済的負担が増えることでやりたくてもできない子どもが増えることが考えられるため、移動手段について駒らんバスのような経済的な支援をしていただくと子どもたちにとって市内どこにいてもやりたいスポーツ・文化芸術活動ができるということへの実現に近づくのではないかと思います。</p> <p>「十分配慮しつつ～」の十分な配慮についてご検討をお願いします。</p> <p>スポーツ庁が掲げているマルチスポーツ環境も実現できると思います。</p>	<p>地域連携に伴う子どもや保護者の負担軽減は重要な課題と認識しており、いただいたご意見を参考に今後、検討してまいります。</p>
----------	---	---

<p>5</p>	<p>P 1 3に課題と対応例の「指導者の資質向上」について、指導者への研修は非常に重要だと思います。</p> <p>技術指導はもちろんですが、それ以上にモラル、暴力根絶、ハラスメント防止、マネジメント（適切な休業日の設定）など指導者としてのあり方・規範について、スポーツ・文化芸術活動に関わる多くの指導者がよい意味での刺激になるような研修の機会を設定していただくことをお願いしたいです。指導者の横のつながりができることで課題を共有したり、地域移行（連携）についての様々な意見を聞いたりすることができる機会になると思います。そのことがきっかけで地域移行（連携）への一歩を踏み出す指導者もいるのではないかと思います。</p> <p>また、地域移行（連携）にむけてのロードマップを作成する研修や演習を行ってみるのもいいと思います。</p>	<p>指導者の資質向上は、地域連携を円滑に進めるうえで重要な要素であり、いただいたご意見を参考に今後、検討してまいります。</p>
<p>6</p>	<p>市内において部活動が自由に選べない状況にあることがわかり、地域連携、地域移行に向けた取り組みは必要だと感じました。教職員の長時間労働の対策のためということも大切なことですが、小規模校での部活動の選択の幅を広げるという観点からも、ぜひ制度を充実させてほしいと思います。</p> <p>他校と合同部活動として活動する場合、合同チーム方式でも拠点校方式でも、十和田湖のように他校との距離が離れている学校では、実現させるための課題が大きいと感じます。学校の授業が終わってから部活に行くために片道一時間弱かかるというハンデは大きいですが、それをかけてでも、子供達にとって大切な体験、活動ができるならと、前向きに考えたいと思います。移動手段についての支援、補助をしっかりと考えていただきたいです。</p> <p>中心地に集める、という考えだけでなく、十和田湖に部活をしに来る、ということもあって良</p>	<p>小規模校における部活動の選択肢を広げることは、地域連携の大きな目的の一つであり、合同部活動の実施や移動手段の支援についても重要な課題と認識しております。いただいたご意見を参考に今後、検討してまいります。</p>

	<p>いと思います。現在地域で活動がされている団体はないと思いますが、例えばカヌー部やスキー部、芸術に関する部などが十和田湖を拠点に活動できるようになれば、地域間の交流も活発になり、十和田市ならではの特色ある活動、スポーツを、多くの子供達が選択してできるようになると思います。</p>	
7	<p>部活動が地域連携、地域移行することによって、保護者への金銭的負担がかかるようになるというのは、正直、厳しいです。また、送り迎えを保護者がしなければ参加できないということになれば、仕事などの都合によりできない家庭も少なくないはずであり、結局部活動が思うようにできない生徒が増えてしまうと思います。</p> <p>会場使用に関する費用、会場へ行くための交通手段（スクールバス）、または交通費の補助など、活動をするために最低限必要な費用に関しては、市での負担を考えていただきたいです。</p> <p>さらに言えば、現在、例えば県大会等に出場することになった時、市外の会場まで行く交通費など、小規模校ではその予算も限られており、足りない分は保護者が負担していかなければならなくなると思います。子供達の頑張りを応援したい、やりたいことをやらせてあげたい、という保護者の願いはみんな同じで、なんとかしてあげたいと思いますが、そういった部活動費の支援制度が、市にあるとありがたいと思います。</p>	<p>地域クラブ活動は、中学校の部活動ではなく、習い事と同様に、様々な選択肢の中から生徒・保護者が主体的に選択し、参加することになります。そのため、参加費を負担し、自ら移動・送迎することを原則と考えます。地域連携に伴う保護者の負担については、今後、支援の在り方を検討してまいります。</p>

<p>8</p>	<p>部活動指導員の確保は、実際なかなか難しい課題だと思います。指導員になれる条件や報酬など、内容を十分吟味して、指導員が確保しやすい内容にしてほしいと思います。</p> <p>教職員で地域クラブ活動に従事することを希望する方々がどの程度いるものか、その方々の活躍に期待するのが一番なのかなと思います。残業としてではなく、仕事が終わってからクラブ指導員として活動する、という形は、きっと地域の部活動指導員も同じはずなので、その制度がうまく行くといいなと期待したいです。</p> <p>指導してくださる方々がいなくては、子供達の部活動の選択の幅も狭くなってしまいますので、指導員の確保がとても大切だと思います。</p>	<p>部活動指導員の確保は、子どもたちの選択肢を広げるために欠かせない要素ですので、いただいたご意見を参考に今後、検討してまいります。</p>
<p>9</p>	<p>本件の周知や意見の募集について、ホームページや広報などで呼びかけていると思いますが、子育て世代だけでなく、地域全体として考えていかなければいけない内容ですので、積極的に呼びかけをしてほしいと思います。</p> <p>学校で保護者が集まる行事の時や、地域のクラブ活動やその大会の際など、情報提供として出向いて説明をするというようなことも考えてほしいです。</p> <p>子育て支援、地域間交流、世代間交流などが活発になり、より良い、住みやすい十和田市となることを願っています。よろしく願いいたします。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、事業の周知に努めてまいります。</p>